

2026 年 2 月 16 日

各 位

**分散型自律組織「Mars X DAO」への技術提供および
宇宙推進事業プロジェクトの開始に関するお知らせ**

～Web3 技術を用いて可視化・価値化する「ツインエッジ・トレジャリー構想」の実現へ～

当社は、2026 年 2 月 13 日付「[Space Exploration Technologies Corp.（以下、スペース X 社）への投資に関するお知らせ](#)」で公表しました成長戦略の一環として、本日、海外の分散型自律組織（DAO）である「Mars X DAO（マーズ・エックス・ダオ）」が推進する宇宙推進事業プロジェクト「Mars X」に対し、戦略的パートナーとして参画し、技術提供およびマーケティング支援を開始することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当該プロジェクトにおけるトークン発行等の開始時期については、今週中（2026 年 2 月第 3 週）を目処に、Mars X DAO 主導により実施される予定です。



1. 支援の背景と目的

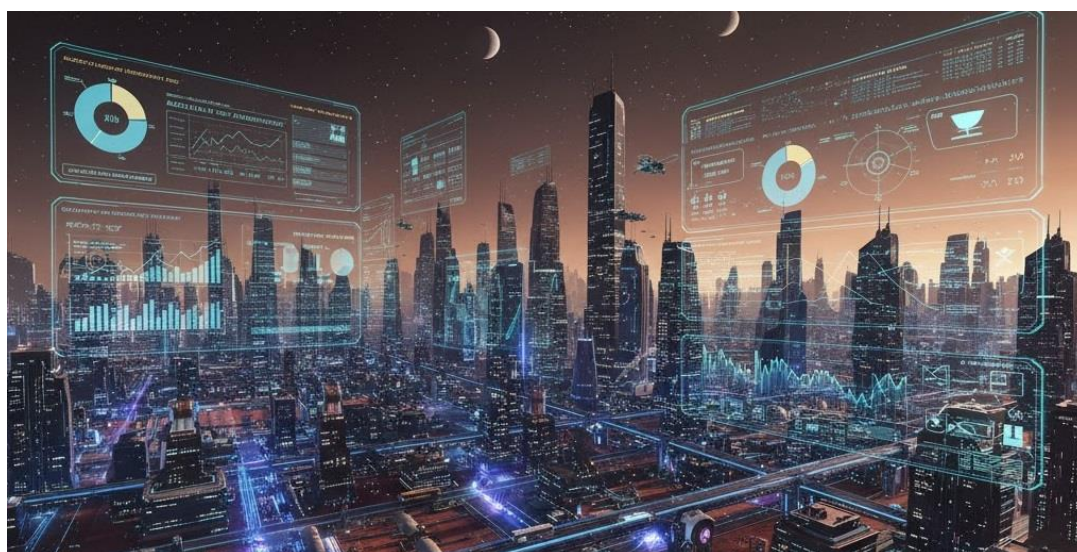
当社は、「多様性を通貨にする（Tokenizing Diversity）」をミッションに掲げ、AI とブロックチェーン技術を融合させた新たな経済圏の構築を推進しております。

先般、公表いたしましたスペース X 社への投資（1.5 億円相当）に関しては、単なる財務リターンを追求するだけでなく、人類のフロンティアである宇宙産業への関心や熱狂

を、Web3 技術を用いて可視化・価値化する「ツインエッジ・トレジャリー構想」の核心をなすものです。

この度、当該構想の具現化として、海外の有志コミュニティにより組成された「Mars X DAO」が立ち上げたプロジェクト「Mars X」に対し、当社の保有する Web3 基盤技術（abc BaaS）およびエコシステムを提供することで、当該プロジェクトの安全性と利便性を高め、グローバルなコミュニティ形成を支援することといたしました。

※注：本プロジェクトは Mars X DAO が独自に運営するものであり、スペース X 社との資本関係・業務提携関係はございません。



2. 「Mars X」プロジェクトの概要

「Mars X」は、宇宙開発の進捗をシミュレーションやエンターテインメントを通じて体験・応援することを目的とした、DAO 主導のコミュニティ・プロジェクトです。

- **プロジェクト主体（発行体）：** Mars X DAO（分散型自律組織）
- **プロジェクトの特徴**
 - ・フェアローンチ方式の採用：特定の管理者や初期投資家によるトークンの事前保有（プレメイン）を行わず、全ての参加者が公平な条件で参画する透明性の高いモデルを採用しております。
 - ・実社会連動：宇宙産業の成長やニュースをトリガーとしたコミュニティ・イベントが設計されており、実社会の動向とデジタル空間の活動が連動します。
 - ・シミュレーション機能：独自の AI 技術を用いた宇宙飛行シミュレーション機能を提供し、ユーザーは楽しみながらコミュニティに貢献することが可能です。

➤ **開始時期（スケジュール）**

具体的な日時は非公開としておりますが、今週中（2026年2月第3週）に Mars X DAO によるトークン発行および流動性提供（ローンチ）が実施される予定です。当社はこれに合わせて、これまでに当社の連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd.（本社：マレーシア）などと構築してきたブロックチェーン技術基盤やエコシステム（WWB プロジェクト等を含む）の経験を活かし、技術基盤およびマーケティング支援の提供を開始いたします。

3. 当社の役割と収益モデル

当社は本プロジェクトの発行体ではありませんが、日本における戦略的パートナーとして以下の業務を提供し、対価として技術提供料およびマーケティング受託手数料を受領する予定です。

なお、具体的な対価に関しては、DAO 側の流動性提供状況に依存するため確約するものではありませんが、当社連結売上高等に対して軽微な金額であると想定しております

1. 技術基盤の提供：

当社の「abc BaaS（Blockchain as a Service）」を提供し、Web3 ウォレットの即時発行やガスレス（手数料無料）体験など、一般ユーザーが容易に参加できるインフラを整備します。

2. エコシステム連携：

当社関連企業が支援する「WOW Dex（分散型取引所）」との連携を通じ、適法かつ透性の高い流動性環境の構築を支援します。

3. マーケティング連携：

当社の宇宙事業投資に関する知見やネットワークを活用し、プロジェクトの認知拡大およびブランド価値向上に寄与します。

※なお、当社はプロジェクトの公正性を担保するため、トークンの現物報酬や事前割当（プレメイン）等は一切受領いたしません。

4. 今後の見通し

本件が当期の業績に与える影響は軽微であります。

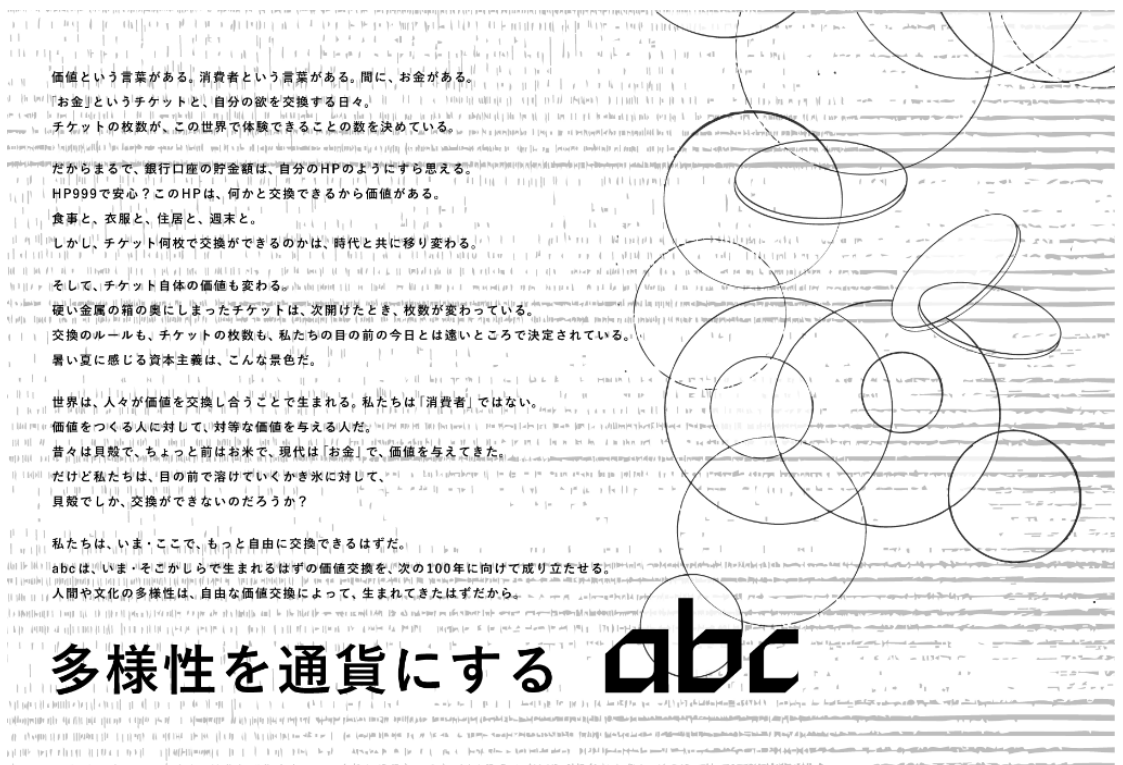
なお、本プロジェクトに関連して今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

【ご留意事項】

本資料は、当社の事業活動に関する情報の提供を目的としたものであり、特定の暗号資産（トークン）の勧誘や売買の推奨を目的とするものではありません。

「Mars X」トークンは Mars X DAO が発行するユーティリティ・トークンであり、金融商品取引法上の有価証券には該当いたしません。また、本プロジェクトはスペース X 社の公式プロジェクトではありません。暗号資産は価格変動リスクを伴うものであり、当社は当該トークンの価格や価値を保証するものではありません。

記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
使い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の目の今日とは違うところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、今と前は米で、現代は「お金」で、価値を考えてきた。
だと私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこがらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上